

# 動物取扱責任者講習

## 鳥類編

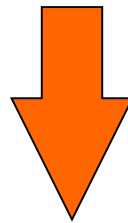
# 日常の健康管理

- 体調不良の兆候（どこを見る？）
- 応急処置
- 予防

# 元気？病気？ どこを見る？①

まず初めに気付くのは・・・

- ・ **元気のなさ**；いつもより動きがない（活動量低下）  
止まり木に止まらず床に下りている
- ・ **食欲のなさ**；あげたエサの量は同じなのに多く残っている  
好物だけ減っていて他は食べていない



ちょっとおかしいなと思ったら、**早めに対処**を！

明らかな不調 → 発見時点でかなり進行

代謝が速いため、悪化も早い（犬、猫や爬虫類とは別格）

# 元気？病気？ どこを見る？②

続いて具体的な兆候  
どこがおかしい？



# 元気？病気？ どこを見る？③

どこがおかしい？



# 元気？病気？ どこを見る？⑤

## その他の兆候

- ・立ち姿のバランスがおかしい  
傾いていたり、翼が下がっていたり。
- ・羽や皮膚がおかしい  
ハゲができている、フケが多いなど
- ・鼻水やくしゃみ
- ・しきりに目をかく

など

# 元気？病気？ どこを見る？⑥

便や尿のチェック(量、色、形など、いつもと変りない？)

- 量が少ない(あるいは全くない) → 重篤かも
- 形が崩れてる → 下痢かも
- 黄色とか緑色 → 肝臓のトラブルかも
- 尿の液体部分が少ない → 脱水？

など



# 具合が悪いみたい→どうする？

➡ とりあえず獣医さんへ！

残念ながらすぐには受診できない  
→応急処置を



# 応急処置で正しい順番は？

体を温める

水分補給

酸素吸入

市販薬の投与

カロリー補給

# あまり変化がなければ・・・

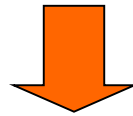
**動物病院へ！**

獣医さんにちゃんと診てもらわなければいけません！

鳥は代謝が早い分、状態の悪化も早いいため、あまり迷っている時間はないかも・・・

# 病気の予防：細菌感染対策

高い代謝→採餌量も排泄物も多い  
残餌、排泄物が菌の温床に  
床材を入れている場合は、さらに菌は増殖しやすい



- ・できるだけ簡便な環境で
- ・こまめに水換えや床材交換
- ・糞や残餌はできるだけ早く取り除く

# 病気の予防：カビ対策

鳥に意外と多い、カビの感染

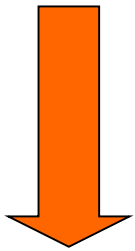
多くは呼吸器感染（アスペルギルス等）

環境中に普通に存在するカビがほとんど

→鳥の免疫が下がった時に発症（換羽や産卵）

ヒトが感染することも（クリプトコッカスが有名）

鳥は無症状で、カビを排出しているだけ



どれだけ飼育スペースの環境を清潔に保てるかがポイント

# 病気の予防：その他

- 器具や手は個体ごと(もしくは種ごと)に洗う
- ケージは洗い替えを用意(乾燥でも消毒効果)
- 新たに導入した個体は隔離して検疫を
- 日々の観察を



予防を頑張る方が、治療を頑張るより楽でお得！